

決算報告

市の令和3年度決算が、市議会9月定例会で認定されました。皆さんからの税金や国、県からの支出金がどのように使われたのかをお知らせします。

◆問合せ先 財政課財政係
(☎40-0253)

※千円の位は四捨五入しています。

一般会計のポイント

実質単年度収支が5年ぶりに黒字

令和3年度の南陽市の一般会計の概要は以下の通りです。歳入と歳出の差し引きである「歳入歳出差引額」は11億9,503万円、そこから繰越金、基金積立、取り崩しを除いた**実質単年度収支**は4億2,448万円となり、平成28年度以来5年ぶりの黒字となりました。

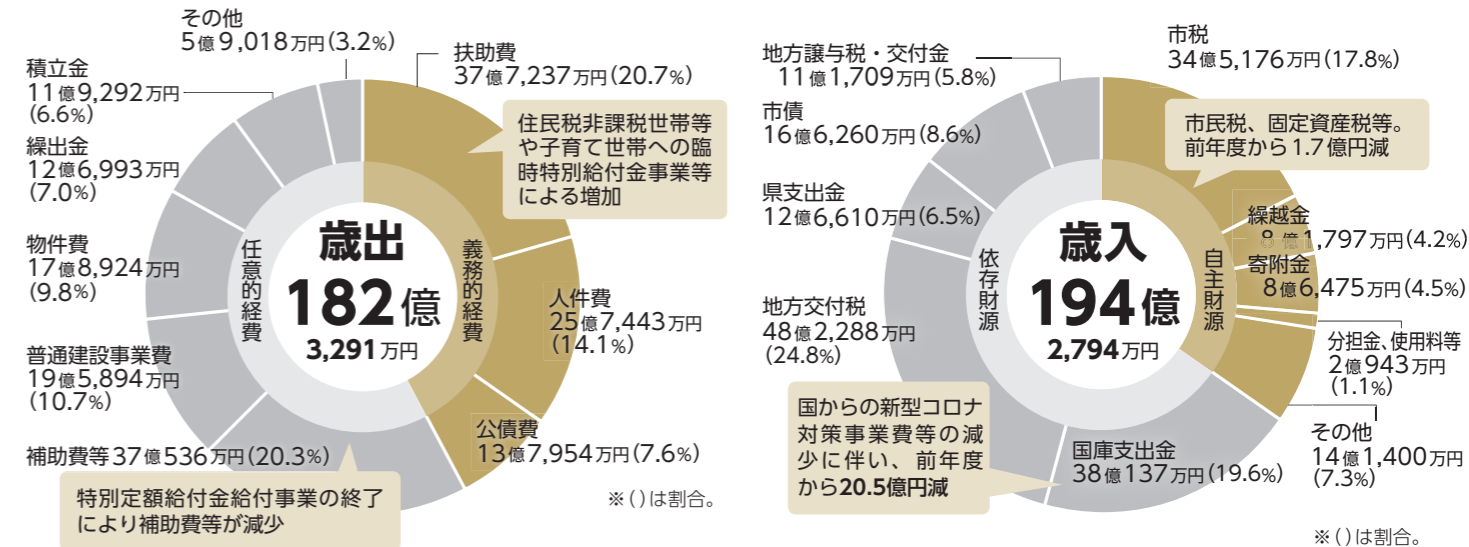
これからの社会環境の変化に柔軟に対応しながら、限られた財源を上手に使い、市民生活に直結する事業を将来にわたって持続していけるよう財政運営に取り組んでいきます。

令和3年度の一般会計の概要

歳入総額	194億2,794万円
歳出総額	182億3,291万円
歳入歳出差引額	11億9,503万円
単年度収支	3億8,502万円
実質単年度収支	4億2,448万円

前年度までの繰越金等を除く
基金への積立による増減分を除く

一般会計 歳入・歳出ともに、前年度から減少



出ていくお金、歳出決算額は182億3,291万円。前年度から8億3,476万円減少しています。義務的経費（支出が義務づけられた経費）では、特に扶助費が増えています。これは住民税非課税世帯や子育て世帯への臨時特別給付金事業が要因です。任意の経費（市が任意に使える支出）では、普通建設事業費が新浴施設や認定こども園施設整備事業等により75.1%増加していますが、特別定額給付金給付事業の終了により補助費等が減少し、前年度に比べ全体で15億910万円（12.6%）減少しています。

入ってくるお金、歳入決算額は194億2,794万円。前年度から4億5,770万円減少しています。このうち自主財源（市が自主的に調達し、使いみちを決められる財源）は、市税が1億6,653万円減少したものの、ふるさと納税などの寄附金等が増加したため、829万円の増加となりました。また、依存財源（国・県の交付金や市債）は、前年度より4億6,600万円減少しています。これは国庫支出金が前年度より20億4,598万円減少したこと等が要因です。

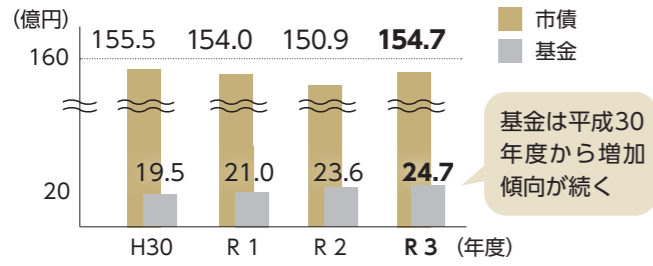
特別会計 全ての特別会計で黒字決算

(単位は万円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引
国民健康保険(事業勘定)	32億1,227	31億7,100	4,127
国民健康保険(施設勘定)	171	171	0
財産区	1億731	1億592	139
育英事業	610	310	300
介護保険	37億1,653	35億3,774	1億7,879
後期高齢者医療	3億9,728	3億8,513	1,215

特別会計は、事業・資金毎の運用状況を明確にするために、特定の事業において一般会計とは別に設けられている会計のことで、特別会計は5会計（うち国保は2勘定）あり、全ての特別会計で黒字決算となっています。歳入総額は74億4,120万円で、前年度より4,823万円増加し、歳出総額は72億460万円で、前年度より1億1,041万円増加しています。

市債(市の借金)と基金(市の貯金) 基金残高は増加継続



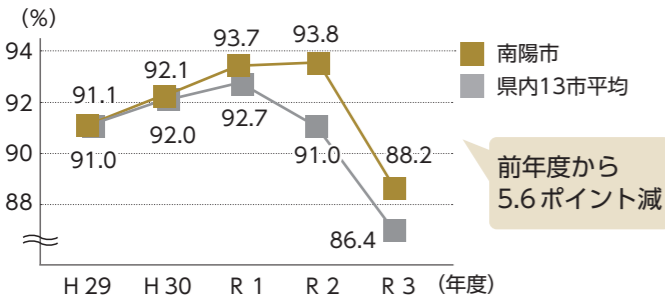
市債とは歳入の不足を補うとともに、世代間の公平性を保つために市が発行する債券、つまり**借金**です。市債残高は前年度に比べ3億7,534万円増えました。

基金とは**貯金**のことです。災害復旧等に対応する**財政調整基金**や、特定の目的のため資金を積み立てるもの、定額の資金を運用するもの等があります。公共施設維持管理基金の積立が大きかったことなどにより、前年度に比べ1億548万円増えました。

市の財政状況を分析

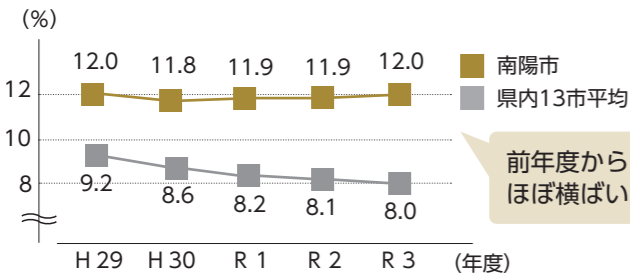
経常収支比率 (固定的に支出されるお金の割合)

歳出のうち、扶助費、人件費、公債費等の毎年継続して支出される経費の比率。率が低いほど**臨時的な財政需要に予算を向けることができます。**



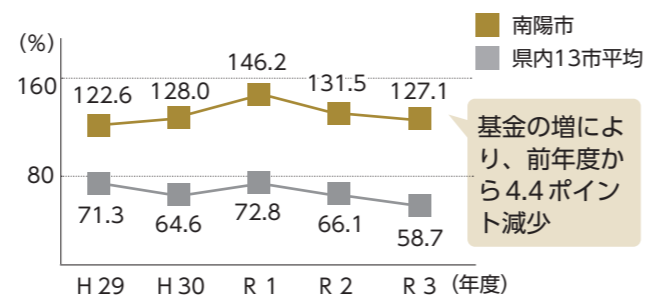
実質公債費比率 (市の収入のうちどの位 借金返済にあてたか)

標準財政規模に占める市の起債償還金(企業会計や一部事務組合を含む)の割合。低いほど**健全な経営**です。



将来負担比率 (市の借金が収入の何年分になるか)

標準財政規模に占める、市の借金(地方債、債務負担、公営企業への負担見込等の合計)の割合。低いほど**将来への負担が少なく済みます。**



将来負担比率・実質公債費比率ともに、国の定める基準を下回っています。また、すべての公営企業で資金不足はありませんでした。厳しい状況が続く中、今後もより一層健全な運営に努めます。

